事例No.	532
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	熊本県宇城市

事例区分	公会計

タグ	・セグメント分析 ・公共施設等総合管理計画 ・EBPM

事例種類	セグメント分析

事例内容・タイトル

セグメント分析による図書館の統廃合

出典

地方公会計の活用のあり方に関する研究会

セグメント分析（施設の統廃合）

【事例】セグメント分析による図書館の統廃合（熊本県宇城市）

背景・目的

○ 合併に伴い、同種同規模の建物が旧町ごとに存在している現状は、少子高齢化、市民ニーズの多様化、合併による生活圏の変化に合致した施設規模・配置では必ずしもなくなってきている。

○ 多くの施設を維持管理する上で、更新又は大規模改修が必要な施設に計画的かつ適切な保全管理ができていない。

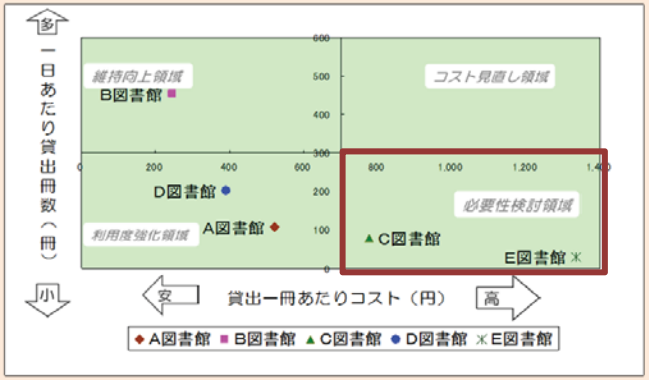
事例概要

○ 財務書類をもとに作成した「施設白書」のデータを使い、一日当たりの貸出冊数、貸出一冊当たりのコストをグラフ化し、4つのグループに分け、各図書館の評価分析を実施。

○ 必要性検討領域にある2つの図書館について、以下の要素も考慮しながら、移転、解体等を検討。

（・耐震性
・地理的要素　等）





効果等

○ 検討の結果、耐震性が低いC図書館については、平成27年度解体撤去。

○ 市街地中心部から離れていたE図書館はA図書館の分館として中心部にある支所に移転（貸出冊数が倍増（1,500冊→3,000冊/月））。E図書館であったスペースは手狭になった郷土資料館の拡張に利用。